

(仮称) 埼玉中部資源循環センター整備事業環境影響評価準備書説明会 議事録

日 時 平成30年9月5日 (水)
場 所 桶川市 川田谷生涯学習センター視聴覚ホール
会議時間 午後 2時00分から
午後 3時36分まで
参加人数 4名
顛末

司会 (新井主査)	1 開会
根岸事務局長	2 あいさつ
司会	出席者紹介
事務局	3 (仮称) 埼玉中部資源循環センター整備事業環境影響評価準備書説明会 (1) 事業の概要について (2) 環境影響評価手続きの概要について 資料をもとに説明。 (3) 環境影響評価準備書について 資料をもとに説明。
中日本建設コンサル タント(株)	4 質疑応答
質問者 A 事務局	調査計画書への知事意見はどの部分に反映されているのか。 知事意見の主な内容は中部環境センターの影響を加味することが挙げられる。現地調査の際に中部環境センターの稼働を確認した上で調査をした。環境影響評価準備書の予測評価はその影響を加味された内容となっている。知事意見及びそれに対する見解の詳細は環境影響評価準備書7章に記載している。
質問者 A 中日本建設コンサル タント(株) 事務局	調査地点が少なく、建設予定地から遠く感じるが調査地の選定根拠を知りたい。季節ごとに変わる風向きの変化をどう反映させたのか。 大気質の調査結果から申し上げると、どの地点においても気象の大きな違いが無く、どの地点も同じような環境である。 大気質の建設予定地周辺4つの調査地点について、建設予定地の気象状況として北北西からの風が多く出現することから、北北西から南南東に抜けるラインを軸に十字を切るように設定している。現地調査でも北北西からの風が多く出現していたことから調査地点については適切と考える。建設予定地からの距離について、煙突からの排ガスの最大着地濃度地点がおおよそ700m程度であると見込んで調査地点を設定した。調査結果からもおおよそ同程度の距離が最大着地濃度地点であったことから適切と考えている。
中日本建設コンサル	風向風速については、平成29年6月23日から平成30年6月22

ルタント(株)	日まで365日24時間測定をした。その結果を反映させて予測をしている。
質問者 A 中日本建設コンサルタント(株)	ダイオキシン濃度の実測値は。 資料(3)環境影響評価準備書についてP17記載のバックグラウンド濃度のことであり、環境影響評価準備書9.1-13に記載している。
質問者 A 中日本建設コンサルタント(株)	大気質の評価で影響が軽微であるとした理由が分からない。 予測環境濃度が環境基準等を下回っているので影響が軽微であるとした。
質問者 A	大気質の環境保全措置として、法基準等よりも厳しい自主基準値を設けるとあるが水銀とダイオキシン類は法基準等と同じであるのは記載が間違っている。
事務局	法基準の考え方には、健康保護の観点からの数値基準と、健康保護以上に最高の技術水準で達成していく数値基準の2つがある。ご指摘の水銀とダイオキシン類は健康保護の観点以上に最高の技術水準で達成していく数値基準として既に法基準が設定されているので、法基準値を自主基準値として採用した。一方、他の自主基準の項目に係る法基準は、健康保護の観点から設定された数値である。
質問者 A 中日本建設コンサルタント(株)	騒音について、建設予定地南側の数値が現況で既に超えているが納得がいかなないので改善すべき。 現地調査の結果であることをご理解いただきたい。環境基準を超えてしまっている要因としては、現地の状況から建設予定地北側の県道交通の騒音の影響を受けたと考えている。
事務局	こうした現状から、組合事業による騒音を出来る限り低減する環境保全措置を行う。具体的には資料(3)環境影響評価準備書についてP24に記載した措置を講じたい。
質問者 A 事務局	騒音の環境保全目標が規制基準を超えているのが理解できない。現状の超えている数値を規制基準としているのはなぜか。 環境保全目標では「現況非悪化」という表現を使わせていただいている。現況調査で既に環境基準を超える数値が出ているが、その現況をそれ以上悪化させないような目標設定としている。事業による騒音は出来る限り低減する環境保全措置を行う。
質問者 A 中日本建設コンサルタント(株)	土壌に関して、ダイオキシン類の測定結果が環境基準を下回っているとのことだが、地点ごとの数値はどこを見ればわかるのか。 環境影響評価準備書9.7-6に記載がある。
質問者 A 中日本建設コンサルタント(株)	トウキョウダルマガエルの移設とは具体的にはどう行うのか。 トウキョウダルマガエルの移設とは、まず、侵入防止柵を設置し、建設予定地外から建設予定地内にトウキョウダルマガエルが入らないように

質問者 A	<p>する。その後建設予定地内を調査して個体を発見したら建設予定地外に逃がすという作業を想定している。この措置は工事前の期間に実施する。</p> <p>トウキョウダルマガエルの移設の作業を見ることは出来るのか。事業に関心のある人は組合のホームページを見ている。事業の状況についてはホームページで周知するのか。今回の説明会の概要はホームページに掲載するのか。環境影響評価準備書の製本版はこの場で貰えるのか。</p>
事務局	<p>事業の進捗状況は説明会等を随時行う。出来るだけ多くの方々に周知したいと考えている。説明会で出た意見、意見書の内容は出来るだけ早くとりまとめたかと思っている。環境影響評価準備書の製本版の提供は余部を確認した上で必要に応じてお渡しすることを想定している。</p>
質問者 B	<p>今回の環境影響評価の対象範囲 3 km の根拠はあるのか。</p>
事務局	<p>埼玉県環境影響評価条例で定められている。</p>
質問者 B	<p>煙突の高さで最もダイオキシン類が高くなる場所はどこか。</p>
事務局	<p>煙突の高さは 59 m を想定し、煙突から南東 550 m 方向がダイオキシン類の最大着地濃度地点となる。</p>
質問者 B	<p>北本市へのダイオキシン類の影響はほとんどないことを示しているのか。</p>
中日本建設コンサル タント(株)	<p>(3) 環境影響評価準備書について P15 は、最大着地濃度から 10 分の 1 の濃度 (0.00002) までを等濃度線で示したもので、10 分の 1 の等濃度線より外側にもダイオキシン類はそれ以下の濃度で存在する予測結果となった。</p>
司会	<p>5 閉会のあいさつ</p> <p>— 以上 —</p>